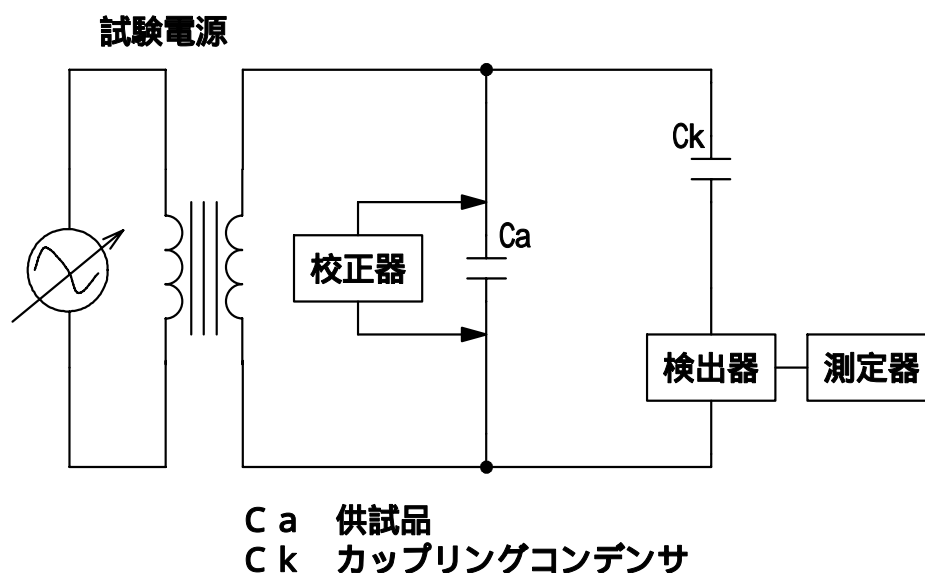


部分放電測定の実際

部分放電測定回路



図は実際の測定回路図です。

部分放電測定を行うには

部分放電測定器、検出器

校正器

カップリングコンデンサ

試験電源

が必要です。

カップリングコンデンサ C k は供試品 C a で発生した部分放電電流を検出器にバイパスします。

C k は通常、試験電圧で部分放電が発生しないことが必要とされます。

試験電源も同じように部分放電が発生しないことが求められ通常、発生電荷量 10 p C 以下 (又は 0 p C) が要求されます。

部分放電測定は比較測定です。供試品 C a で発生する部分放電パルスの電荷量を直接測定することはできませんので、校正器を用い予め測定器を校正します。

部分放電測定はノイズの影響を受けやすいので測定回路に工夫が必要です。